

人権・平和・環境

# あしだがわ

発行

南部生涯学習センター(沼隈支所3階)  
福山市沼隈町草深 1889 番地 6  
TEL 980-7713  
FAX 987-2382

Webは  
こちらから



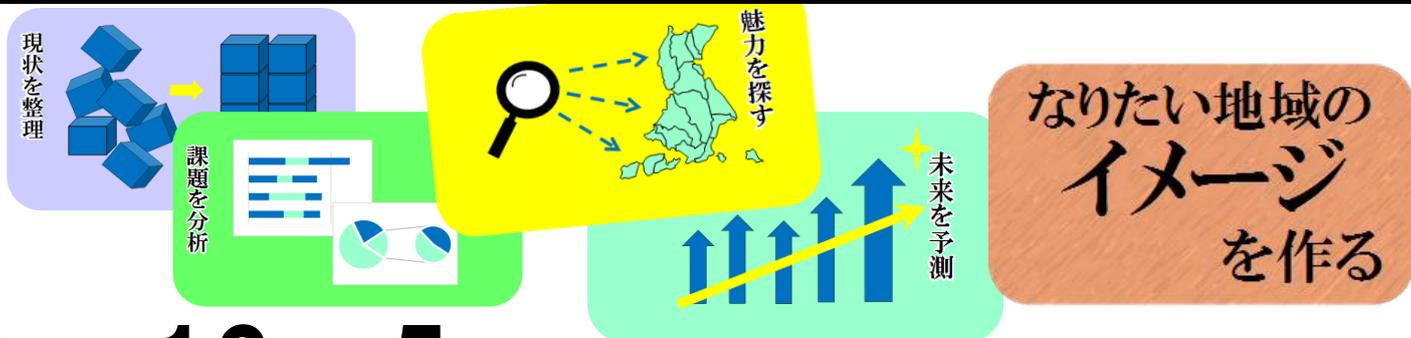
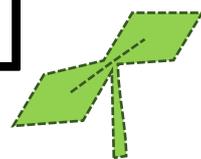
E-mail: [nanbu-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:nanbu-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp)

福山市南部生涯学習センター

福山市ホームページ (URL: <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>) から「あしだがわ」で検索!

## 講演会「地元を作り直す時代」

～人と仕事を取り戻す仕組みづくり～



日時: **12月5日(土) 13:30~15:30**

講師: <sup>ふじやま こう</sup> **藤山 浩さん** (一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 所長)



◎講師プロフィール

1959年、島根県益田市生まれ。一橋大学経済学部卒業。博士(マネジメント)。島根県中山間地域研究センター等を経て2017年より現職。総務省地域力創造アドバイザー他、国・県委員多数。専門は、中山間地域論、地域人口分析、地域マネジメント、地域経済、地域計画。著書に「田園回帰1%戦略」、「循環型経済をつくる」、「地域人口ビジョンをつくる」、「小さな拠点をつくる」(農文協)など。

◆場 所: **うつみ市民交流センター ホール(福山市内海町88番地60)**

◆定 員: 90人(要申込) ※申込は11月2日(月) 10:00~

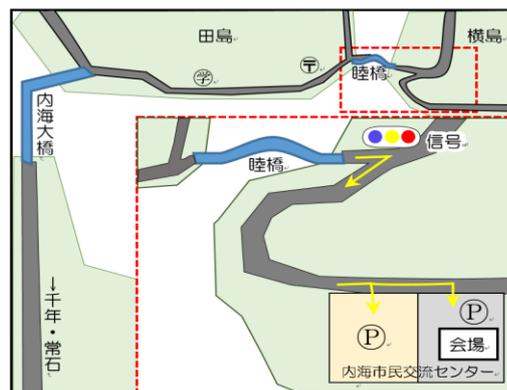
◆申込・問合せ先:

南部生涯学習センター  
電話 084-980-7713  
Fax 084-987-2382  
メールアドレス

[nanbu-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:nanbu-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各自マスクを持参してください。

◆主催: 南部生涯学習センター, 企画政策課



しかくしょう どう りゆう ひと えいりもくてき のそ ろくおん てんじ かくだい みと  
視覚障がい等の理由がある人のために、営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。

# 映画上映会

心は山にありました。

最期まで山で

最期までふたりで

ある夫婦と支える家族、

25年を記録した

ドキュメンタリー映画

ナレーション 吉岡秀隆

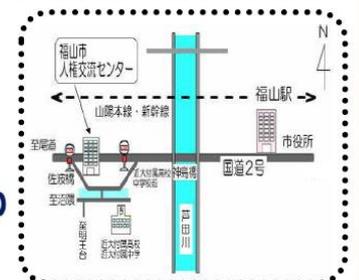
# ふたりの 桃源郷

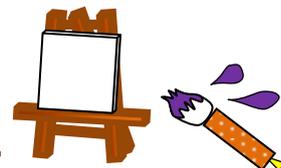


とき 11月23日(月) 14時～(開場13時30分)  
ところ 福山市人権交流センター(1階ホール)  
定員 50人(要申込み・入場無料)

鑑賞希望人数(最大2人まで)、お名前、ご連絡先(電話番号)をご記入のうえ、往復はがき、FAX、Eメールのいずれかでお申し込みください。(11/1(日)～11/13(金)当日消印有効) 電話、窓口での申込みは、お受けできません。申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選結果は、11月20日までに返信いたします。

主催 南部生涯学習センター(福山市沼隈町大字草深1889-6)  
FAX 084-987-2382  
メール [nanbu-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:nanbu-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp)  
問合せ 電話 084-980-7713





沼隈支所ロビーや沼隈図書館企画展示室を活用して、人権問題や南部地域のまちづくりの取組、福山および南部地域のイベントなど、パネル展示やミニトーク、体験講座を通じて、さまざまな情報を発信しています。



## 「山本瀧之助に学ぶ青年運動」

期 間 11月10日（火）～11月23日（月）

場 所 沼隈支所 2階ロビー

明治から昭和初期にかけ、田舎に住む青年を中心に様々な運動を行った山本瀧之助。彼の著書でもある「一日一善」をテーマにパネル展示を行います。

※山本瀧之助は、沼隈郡草深村（現福山市沼隈町）出身の、青年の育成に尽力し「青年の父」「青年団の生みの親」と呼ばれた社会教育・青年教育の指導者



明治時代、農業を産業の中心とした田舎では、そこに住む若者たちは、将来への夢や希望が持てないまま、飲酒、喫煙、野荒し、夜遊びなど荒れた行動が見られました。瀧之助はそうした若者に心を痛めていましたが、若者たちに「やる気」をおこさせ、社会に役立つ青年に育ってもらいたいと考え、学ぶことや継続の大切さを教え、さまざまな提案をしました。



## 「南部管内のまちづくり活動」

10月6日（火）～10月20日（火）まで、沼隈支所2階ロビーでまちづくりをテーマに、南部管内のまちづくり推進委員会の2019年度の活動報告のパネルを展示しました。

福山市のホームページから、福山市全地域のまちづくり推進委員会の活動報告を見ることができます。

福山市全地域の活動報告の掲載ページは



こちらから☞





寄って、話して、自ら気づく

# 子育てについて話しませんか。



『親の力』をまなびあう学習プログラム（通称「親プロ」）は

- 身近なエピソードをもとにした内容
- 子育て段階等に応じたプログラム
- 楽しく話し、聞いて納得する参加型

親同士の交流の場や地域での交流の場などで実施できます。養成講座を修了したファシリテーターが、学習プログラムの進行をつとめます。参加者が安心して自分の意見を言ったり、人の意見を聞いたりすることができるような雰囲気を作ります。

お問い合わせは  
南部生涯学習センター  
電話 980-7713



## みんなどうしてる？

～親編・親の生活編・子供の生活編～

サイコロやカードを使ってゲーム感覚で楽しく学べるよう、新しく0～2歳児の保護者を対象にしたプログラムを開発しました。

より多くの“場”や“機会”に活用いただけるよう「短時間」で楽しく学べる教材です。

♥子育てサークルやおもちゃサロンなど、「ちょっとした時間」にぜひご活用ください。



●	食（遊び食べ・離乳食・好き嫌い等）
●	睡眠（寝かしつけ・夜泣き・夜の授乳等）
●	遊び（屋外・屋内・関わり等）
●	我が家の〇〇ルール
●	うれしかった瞬間
●	フリートピックス

デザイン：たかまこと、監修：たかまこと

## 12月2日は 奴隷制度廃止国際デー です

奴隷制度廃止国際デーは、国連が定めた国際デーの一つです。

世界人権宣言がその第4条で禁止を掲げながら現在もなお存在する奴隷制度。女性や子どもをはじめとする、あらゆる年齢の人種、民族、宗教などさまざまな立場の人が犠牲となっている国際問題です。奴隷制度と聞くと、日本人にはあまり馴染みのないことに感じられるかもしれませんが。

かつてのアメリカでは、多くの黒人を奴隷とし差別してきた歴史的事実があり、現在でもその禍根が残っています。

最近では、テニスの大坂なおみ選手が BLM（黒人の命も大切だ）問題に呼応し差別に抗議をする意味で、参加していたトーナメント大会の試合を棄権するかどうか悩んだことが話題になりました。世界ではこうした大坂選手の行動が賞賛され、米テニス協会も予定していた試合の延期を決定しました。

またアメリカでは、人種差別に抗議する人たちが「奴隷商人」として財を成した人物の銅像を破壊したり撤去したりする動きも見せています。これは「奴隷」とされた人たちの子孫が、「奴隷商人」を「偉人」としてたたえる白人側の価値観に抗議をする意図をもって行っていることです。

奴隷制度が今なお多くの人たちを苦しめる差別となって残っていることが分かります。

日本にもこのような差別が存在するのではないか、是非この機会に考えてみてください。

